特集

介護人材の確保・定着のために。

進む国際交流。

（P.3の続き）

前から頑張ったことや日本に来た理由を思い出すようにしました。また、仕事と勉強と遊びとのバランスの大切さが分かるようになりました。自分が自分のことを愛すると自分に愛されるはずです。

失敗したこと (Failures)

日本語能力試験N１に合格する前に何回か失敗してしまいました。諦めたいときは本当に多かったですが、失敗したことによって自分の弱点と強点が分かり、次回の試験に生かしていました。

楽しかったこと (Memorable Experience)

夢の中でしか見ていない色んな所で遊び、楽しいことを体験することができました。何よりも家族を養うことができ、目指した通り自分が独立できたのではないかと感じています。

合格の喜び

介護福祉士国家試験に合格したことは信じられないぐらい嬉しいです。眠れぬ夜、終わりのない試験、プレッシャー、そしてストレスを受けましたが、最後、試験に合格したことは信じられません。私の家族とShiinomienの支援なしにはできません。「勤勉、決心、そして祈りが成功をもたらす」のは確かです。

現在の業務について

５年前に日本で働くことを目指していました。夢を叶えてくださったのはしいのみ園でした！光栄です。また、職場で応援して頂いた職員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

海外で働くのが非常に難しいですが、諺のように「初心忘れるべからず」、私の５年前の姿を思い出しつつ、支援員としてそして、人間として頑張っていきたいと思います。

今年度室内活動班に所属、ブレスレット等の作りを利用者の皆様と共に楽しく行っています。また、看護補助をさせて頂き、以前の仕事を思い出しながら頑張りたいと思います。
宜しくお願い致します。

※「経済連携協定」（EPA：Economic Partnership Agreement）は、WTO（世界貿易機関）と中心とした 多国間の貿易自由化を補完するため、国や地域を限定して、関税等の貿易障壁を撤廃することにより、モノ・ヒト・カネ・サービスの移動を促進させようとするもの。一般的には、「自由貿易協定」（FTA：Free Trade Agreement）の呼称が使用されているが、日本 においては、いわゆる自由貿易協定（物品やサービスの貿易障壁の削減・撤廃を目的とする）の要素 に加え、投資、人の移動、知的財産保護、協力等の広範な分野を対象としていることから、協定の名 称は「経済連携協定」（EPA）を用いている。　厚生労働省ＨＰより引用

フィリピン・マニラで7月23日に開催された「2020年度EPAフィリピン人看護師・介護福祉士候補者現地説明会」に参加しました。

当日は32法人が参加、来場者は約120名と大盛況でした。10時過ぎから説明会がスタート。

当法人は計５名でオリジナルのハッピを着用してチームワーク良く法人説明を行いました。心友会のブースには午前中6組（18名）、午後は10組（29名）で、当日参加者113名のうち、47名の候補者が訪れ、熱心に説明を聞いていました。

年齢層は20代後半から30代後半までが多く、例年に比べ年齢層が高くなっている印象でした。

来年度、新しい仲間と一緒に働けることを楽しみにしています。

宇留間 俊行
知的障害福祉士
介護福祉士

来日10年を振り返ってみると。

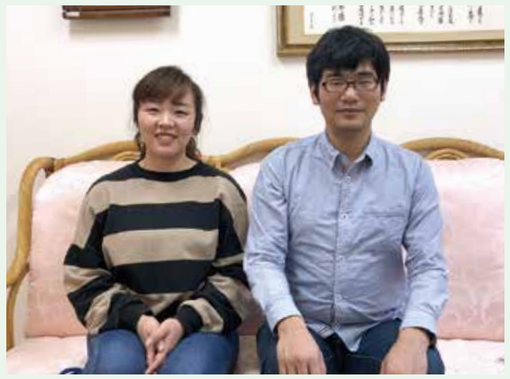
昨年は韓国政府が実施していた海外インターンシップを利用し、来日10周年を迎えた年でした。10年前の自分や心友会を振り返ってみると様々な変化がありました。変化の1つは外国出身の職員が増えてきた事です。「外国出身の職員が我が子ときちんと向き合えるか。」と不安に思った保護者様もいらっしゃると思います。しかし、その不安を払拭する為に頑張ったと自負しております。自分の後輩であり、仲間である尹さんも同じ気持ちで利用者様と向き合いました。

残念ながら応募者の激減に伴って韓国の海外インターンシップ制度は廃止になってしまいました。しかし、そのことが頑張り屋のシャンさん達が心友会で働くきっかけとなり、韓国出身の徐（ソ）さんが中央福祉専門学校に通いながら心友会での就職を目指しており、徐さんの友達の黄（ファン）さんも韓国で日本語を学びながら心友会での就職を夢見ています。

今年から更に10年後の心友会がどの様に変わっていくか自分では計り知れない事ですが、今までと同じく自分に任された仕事に向き合い、利用者様の支援の役に立ちたいと思います。

姜 テミン
介護福祉士
知的障害援助専門員

尹 スルギ
介護福祉士



活動紹介

2019年度 夏祭り

8月11日(日)にしいのみ園の夏祭りを無事に開催する事ができました。

猛暑の中でしたが、300人程度の来場者数となり、利用者様、保護者の皆様、近隣自治会、そして近隣にお住まいの皆様、ご参加くださりありがとうございました。

今回は多国籍のボランティアの皆さんのご協力もあり、国際色豊かなイベントとなりました。また、心友太鼓、黒潮太鼓、学生によるチアダンス、ピエロのマー君、抽選会など、どの催し物でも皆様が楽しまれる様子を見る事ができ、大成功の夏祭りになったのではないかと感じています。

今回の経験をもとに、来年はさらに楽しいイベントが企画できるように職員一同、努めて参りますので、今後ともしいのみ園の様々なイベントにご期待ください。

橋本 玲奈
介護福祉士
保育士

2019年しいのみ園こころの都 日帰り旅行①

10月23日(水)に日帰り旅行を開催致しました。ホテルー宮シーサイドオオツカにて入浴・食事・プラネタリウム鑑賞を行いました。いつもと違う環境での入浴に戸惑う利用者様もいらっしゃいましたが、湯船に浸かると笑顔がこぼれとても気持ちよさそうでした。昼食は海鮮丼。新鮮な海の幸を堪能し、皆様完食されていました。プラネタリウムは初めて鑑賞する方も多く、暗い室内で何が起こるのだろうと不安に思っている方もいましたが投影された綺麗な星空をじっと眺めてリラックスされている方も多くいらっしゃいました。これからも利用者様が笑顔で楽しめる企画を計画してまいります。

大貫 純平
介護福祉士
知的障害福祉士

入所1泊旅行

11月5～6日にて入所1泊旅行を開催しました。ホテルー宮シーサイドオオツカにて宿泊をし、海ほたるから南房総を中心として玉前神社、長福寿寺、白子町のガーベラ団地を観光しました。

今回の旅行では利用者様の保護者様も参加していただくことで交流を深め、より楽しい時間を過ごす事ができました。

これからも利用者様、保護者様と共に楽しく笑顔になれる企画を計画していきたいと思います。

真砂 杏子
保育士
知的障害援助専門員

16人研修について

強度行動障害に関する専門性を有し、地域における支援の中核となる人材の養成を目指すことが目的であり、一年という長い期間を使い、TEACCHアプローチ・応用行動分析学を中心とした強度行動障害支援において必要な知識・技術にかかわる講義、実践研修を現在受講しています。受講してみて感じたことは今まで自分の考えになかった角度・視点から利用者様を見ることができ、多くの支援方法や観察する力が今現在自分自身の持っている支援に加わり、支援の質や幅が広がっているのではないかと感じています。この体験を部下へも繋げられるよう今後も日々努力していきたいと思います。またこのような機会を与えてくださった職場の方々、保護者様、利用者様には感謝しています。ありがとうございます。

※16人研修は、千葉県発達支援センターの指導のもと、TEACCHアプローチと応用行動分析学(ABA)によるアプローチの理論や技法を用いた支援方法について実際の支援の中でPDCAサイクルに結びつけながら学んでいく、年間を通したプログラムです。

強度行動障害支援の対象利用者の方に対し、その人が理解しやすい環境を、イラストなど使いながらつくる工夫をしています。

橋本 太陽
介護福祉士
知的障害援助専門員

保護者・職員懇親会

保護者様も職員も笑顔いっぱい。

手作り鍋。具だくさんで美味しかったです。

職員の名前と顔を覚えるために名簿を一緒に確認しています。

本年度より新たに企画されました「保護者・職員懇親会」を11月24日に実施致しました。本会は「職員ともっと話がしたい」「職員と保護者の交流の場があったら良いのでは」という意見のもと、当法人の保護者会が企画してくださりました。当日は手作りの鍋を囲み、和気あいあいとした雰囲気で普段なかなか話せないことや趣味の話などをして笑顔溢れる会となりました。

次回の開催も決定しております。保護者の皆様はご家族もお誘い合わせのうえご参加頂ければと思います。※次回の日時は追ってご連絡致します。

当法人では今後とも利用者・保護者・職員がより良い関係を作り、信頼しあえる施設を目指して参ります。

大貫 純平
介護福祉士
知的障害福祉士

防災に対する取り組み

生活介護事業所 こころの誉

初めての防災訓練

初めての「総合防災訓練」を実施しました。地震や火災を想定した防災訓練です。机の下に隠れる事が困難な利用者様に対しては、近くにあるクッションを頭にあて保護したり、避難経路を確保したりと1人1人が考え行動する事ができました。今後も防災の取り組みを継続的に実施し改善していくことで、災害に強い安心・安全な施設作りを進めてまいります。

障害者支援施設 しいのみ園

非難はしご訓練

9月27日(金)東海建設㈱様の指導、協力のもと「非難はしご訓練」を実施しました。地震や火災を想定した非難はしご訓練です。今回は絆棟2階から1階まで職員が避難はしごを使っておりる訓練を行いました。「窓から身体を出す時が怖い」「はしごが不安定でグラグラするのが怖かった」など体験した職員は話していました。

今回の訓練により、あらためて職員の防災意識を強化できたと同時に、課題も見つかりました。今後も防災の取り組みを継続的に実施し改善していくことで、災害に強い安心・安全な施設作りを進めてまいります。

生活介護事業所 こころの都

避難訓練

都事業所にて、ともみやこ(放課後等デイサービス)とこころの都(生活介護)合同での地震と火災を想定した総合防災訓練を実施致しました。地震が発生した際、自ら頭部を保護できる利用者様が少ないことを改めて実感しました。避難時もこだわりや動線の乱れに対応できない利用者様が多く、訓練を通して実際の災害時にどういった支援が必要なのかを学ぶ良い機会となりました。今後も訓練を繰り返し実施し、災害時の支援力向上に努め利用者様に安心して利用して頂ける施設を目指していきます。